

歯学研究科 指導教員及び研究内容一覧

※指導教員欄の下線は主指導教員

2022年4月1日現在

研究科目	指導教員	主な研究内容
歯学教育学	<u>片岡 竜太</u> 坂井 信裕	(1) ポートフォリオ評価方法の確立と教育成果についての質的研究 (2) 卒前チーム医療学修のコンピテンシー評価法の確立 (3) 問題発見、解決能力の養成と評価に関する研究
口腔解剖学	<u>野中 直子</u>	(1) 骨・軟骨の形態形成および骨折修復過程の形態学的解析 (2) 歯周組織の形態形成および病態時の経時的構造変化の解析 (3) 歯牙喪失ならびに加齢に伴う口腔構造・機能変化の解析 (4) 唾液腺の分泌機構ならびに経時的機能・構造変化の解析
口腔生理学	<u>井上 富雄</u> 中村 史朗	(1) 咀嚼・嚥下を制御する脳幹の神経機構 (2) 咀嚼・嚥下の制御メカニズムの加齢変化 (3) 摂食制御物質の咀嚼と嚥下に対する影響 (4) セロトニン、ヒスタミン、オレキシンの顎口腔の感覚・運動機能に対する影響 (5) 咀嚼運動と唾液分泌等の自律神経機能とのクロストークの解明 (6) 吸啜から咀嚼への転換機構
口腔生化学	<u>上條竜太郎</u> 山田 篤	(1) 炎症性骨・軟骨疾患の発症機序の解明 (2) 骨の成長とリモデリングの新規レドックス制御機構の解明 (3) 神経堤由来細胞の分化・増殖機構の解明と再生医学への応用 (4) iPS細胞を用いた硬組織再生法の開発 (5) 骨誘導因子活性制御による骨造成と臨床応用を目指した包括的解析 (6) 間葉系幹細胞の分化決定機序の解明
口腔微生物学	<u>桑田 啓貴</u>	(1) 口腔由来細菌による炎症性腸疾患誘導の仕組み (2) グラム陽性細菌の表層蛋白質についての研究 (3) マウスモデルによる口腔粘膜における免疫応答の仕組み (4) 唾液腺抗体による感染制御の仕組み (5) 歯科機器からのエアロゾル発生の仕組み
歯科薬理学	<u>高見 正道</u>	(1) 妊婦・小児・歯周病・歯の移動に対する骨粗鬆症治療薬の作用解析 (2) 脂質代謝と骨代謝および歯発生の関係解明 (3) 遺伝子改変メダカを利用した歯と骨格の形態制御機構の解明 (4) FIB-SEMを用いた破骨細胞の三次元超微細細胞構造解析 (5) 口腔組織の創傷治癒メカニズムの解明 (6) 根尖病巣に対する骨代謝治療薬の作用解明
歯科理工学	<u>柴田 陽</u> <u>堀田 康弘</u>	(1) デジタル歯科関係機器・材料の開発ならびに性能調査 (2) 歯科用インプラントの表面改質と生体適合性の解明 (3) 象牙質と歯科材料接着界面のメカニカルイメージング (4) バイオガラスファイバーによる生体機能性材料の開発 (5) 生体組織の微細構造解明と力学的解析 (6) 歯科用接着材の接着機能の解明 (7) 機械学習アルゴリズムによる生体材料の機能解析
口腔病理学	<u>美島 健二</u>	(1) 唾液腺の発生・再生・腫瘍化機構の解明 (2) ヒト唾液腺オルガノイドを用いた疾患モデル開発 (3) ヒト唾液腺オルガノイドを用いた創薬研究 (4) 分化転換による唾液腺細胞の作出 (5) 唾液腺疾患患者由来 iPS細胞の作出とその病態解析 (6) 関節軟骨再生に対する作用
口腔衛生学	<u>弘中 祥司</u>	(1) 口腔の機能的健康と健康障害に関する疫学的研究 (2) 乳幼児の口腔機能の発達と口腔咽頭部の形態変化との関連 (3) 高齢者の口腔機能の減退と口腔咽頭部の形態変化との関連 (4) 摂食動作における口腔と全身との関係 (5) 周術期等口腔機能管理における効果的な管理方法の開発 (6) デジタルデータを用いた身元不明者の個人識別法の開発

研究科目	指導教員	主な研究内容
美容歯科学	真鍋 厚史 小林 幹宏	(1) ホワイトニング技法の確立 (2) 歯質接着性コンポジットレジン修復システムの開発 (3) 歯科材料等の色彩 (4) 金属、高分子材料の安全性に関する研究 (5) カリエスリスクと再石灰化促進に関する研究 (6) 口腔管理とアンチエイジング (7) CAD/CAMにおける光学印象法の確立
歯内治療学	鈴木 規元	(1) 歯髄・根尖歯周組織疾患の炎症・免疫に関する研究 (2) 歯内治療における画像診断に関する研究 (3) 歯内治療における各種デジタルデバイスの臨床応用 (4) 歯内治療に関わる微生物に関する研究 (5) 歯内治療に関わる薬剤に関する研究 (6) 根管洗浄および根管形成に関する基礎的評価
総合診療歯科学	長谷川 篤司	(1) 歯科診療に関する疫学調査 (2) 医療安全の確保に関する研究 (3) POSに基づく包括的な診療計画と治療実践 (4) 行動科学に基づいた患者の行動変容へのアプローチ (5) 青色励起光によるう蝕と歯周病の診察、診断 (6) 内視鏡を応用した歯内治療
歯周病学	山本 松男 滝口 尚	(1) 接合上皮・歯周組織の幹細胞解析 (2) 組織工学による歯胚と歯周組織発生の解析 (3) 医療機器の開発・レーザー機器の開発 (4) インプラント周囲組織炎の治療と再生 (5) 歯周組織再生療法の研究・開発 (6) 歯周病と全身疾患との関連についての臨床研究
歯科補綴学	馬場 一美 岩佐 文則 田中 晋平	(1) 睡眠時ブラキシズムについての臨床的研究 (2) iPSC細胞を用いた睡眠時ブラキシズムについての生理学的研究 (3) メタルレス・デジタルデンティストリーに関する基礎的および臨床的研究 (4) 患者立脚型アウトカムを基盤とした補綴治療の効果に関する臨床的研究 (5) MPSポリマーを用いた汚れない義歯の開発と高齢者の感染対策 (6) セリア安定型ジルコニアを用いたインプラントの開発
顎顔面口腔外科学	代田 達夫 鎌谷 宇明	(1) 口腔癌に関する遺伝子発現、micro-RNA発現解析と新規腫瘍マーカーの検索 (2) 口腔癌のウイルス製剤、核酸医薬、ナノテクノロジー等の新規治療戦略 (3) 口腔癌発現遺伝子TPDファミリーの増殖・浸潤・転移における機能解析 (4) オートファジーを基軸とした神経障害に対する新規薬物療法の開発 (5) 酸化ストレス防御能の脆弱性から探る慢性疼痛の病態メカニズム (6) 再生医療を基盤とした顎口腔機能再建に関する研究
口腔腫瘍外科学	嶋根 俊和 勝田 秀行	(1) 口腔癌（頭頸部癌）と口腔内・腸内microbiotaの関連性の解明 (2) 唾液腺腫瘍に対する術前診断方法の研究 (3) 頸部神経鞘腫に対する神経機能温存術式の確立 (4) 模型作製による頸部神経鞘腫の構造解明 (5) 口腔癌に対する医科歯科合同チーム診療の確立とその有効性の評価
歯科矯正学	槇 宏太郎 中納 治久	(1) バイオメカニクスを基盤とした顎顔面診断法の開発 (2) CBCT、MRI、光学スキャンを用いた3次元画像診断法の開発 (3) ロボット工学、コンピュータ・シミュレーション工学の応用 (4) 期間短縮、疼痛軽減、審美性を目的とした矯正装置の開発 (5) 顎骨形成および誘導再生法の確立 (6) 顎顔面成長発育における遺伝子診断の確立
歯科放射線医学	荒木 和之 関 健次	(1) 口腔疾患の画像所見の特徴抽出 (2) コンピューター支援画像診断システム（AI）の開発 (3) 新たな画像診断法の開発 (4) オーラルフレイルの画像診断に関する研究 (5) 画像検査の被曝測定と防護 (6) 口腔画像検査の選択基準の確立
インプラント歯科学	宗像 源博	(1) 長期吸収型骨移植材料およびメンブレンの新規開発 (2) 外科シミュレーションガイドの開発 (3) 抜歯窩の治癒に関する研究 (4) インプラント周囲炎の治療法と予防法の確立 (5) 骨移植材料を用いないサイナスリフトの研究 (6) 即時荷重インプラントに関する基礎・臨床研究

研究科目	指導教員	主な研究内容
小児成育歯科学	船津 敬弘	(1)乳歯における S-PRG フィラーによるエナメル質力学的特性変化 (2)Down 症候群乳歯歯根膜由来細胞の DYRK1A 発現解析 (3)抗 RANKL 抗体が若齢マウスに及ぼす影響について (4)Streptococcus oralis 産生過酸化水素によるマロファージの炎症性遺伝子発現制御 (5)レジニン-象牙質接着界面の機能構造・解析 (6)フッ化物応用によるハイドロキシアパタイト単結晶表面改質の結晶学的解析
高齢者歯科学	佐藤 裕二 古屋 純一	(1)高齢者の口腔機能低下症とオーラルフレイル (2)訪問診療における義歯と摂食嚥下リハビリテーション (3)高齢者のライフステージと口腔機能・心身機能・栄養・QOL の関連 (4)ICT・デジタル技術を用いた義歯と咬合・咀嚼嚥下機能の評価 (5)高齢義歯患者における口腔乾燥症の評価と治療 (6)高齢インプラント患者の口腔機能とバイオメカニクス
歯科麻酔科学	飯島 毅彦	(1)周術期の体液管理 (2)グリコカリックスの機能分析 (3)麻酔薬の発達期神経細胞への影響 (4)輸血関連急性肺障害 (5)心疾患患者の術前評価 (6)望ましい静脈内鎮静法の検討
総合内科学	木庭 新治	(1)動脈硬化惹起性脂質代謝異常の成因 (2)心臓リハビリテーションのもつ抗動脈硬化作用の機序の解明 (3)動脈硬化性心血管疾患発症における食生活習慣の影響の解明 (4)高血圧症と睡眠時無呼吸の関連に関する研究 (5)高齢者におけるフレイル、オーラルフレイルの臨床的意義の解明 (6)介入研究および疫学調査のメタ解析・システマティックレビュー
医科歯科連携診療 歯科学	槇 宏太郎※ マイヤース三恵 伊佐津 克彦	(1)歯科恐怖症患者の発生原因に関する心理学的解明 (2)メラトニンによる自然免疫系を介した炎症制御機構の解明 (3)内頸動脈狭窄症に対する口腔細菌のメタゲノム解析 (4)アレルギー発症時の全身的ディスバイオーシス誘導機構の解明 (5)胆管系疾患の発症・重篤化における口腔内細菌の関与についてメタゲノム解析 (6)循環器・血液疾患患者の周術期口腔環境に及ぼす因子の解明
口腔機能リハビリ テーション医学	槇 宏太郎※	(1)病態に応じた効率的な摂食機能療法の確立 (2)高精度嚥下障害スクリーニングシステムの構築 (3)嚥下時の姿勢が嚥下機能に与える影響の解析 (4)各種感覚賦活手技の嚥下反射誘発効果の定量的評価 (5)干渉波刺激が嚥下機能に与える影響の解析 (6)嚥下音の音響情報の可視化が食事介助に与える影響の解析 (7)器質的構音障害・機能的構音障害の舌動態の定量的評価 (8)器質的構音障害・機能的構音障害の歪み音の音響学的評価 (9)頭頸部癌術前術後における口腔機能と QOL の経時的変化の解析
障害者歯科学	船津 敬弘	(1)脳波学を応用した小児・障害者の咬合調整に関する研究 (2)歯科を受診する自閉症におけるメラトニンの機能解明 (3)歯周病モデルマウスを用いた炎症性骨破壊に対する抗 RANKL 抗体の作用解析 (4)癌骨転移に対する TLR の作用機序の解析 (5)ノイズキャンセリング技術を応用した新たな行動調整法の開発
顎関節症治療学	萱沼 岳史	(1)覚醒時の口腔習癖と睡眠時の咀嚼筋活動との関連性 (2)顎関節症への東洋医学的介入の臨床的研究 (3)昼間の咀嚼筋活動フィードバックがブラキシズムに及ぼす影響 (4)顎関節症治療に対する臨床実習の学習効果 (5)全身と咬合との関連性ーパフォーマンスに対するマウスガードの効果ー

※2022 年 4 月現在、教授代行